



**AKIBA** ホールディングス

2022年3月期 第1四半期決算説明資料  
2021年8月11日

1. 2022年3月期第1四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
  - ①メモリ製品製造販売事業
  - ②通信コンサルティング事業
  - ③HPC事業
  - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

1. 2022年3月期第1四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
  - ①メモリ製品製造販売事業
  - ②通信コンサルティング事業
  - ③HPC事業
  - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

## セグメント

### バディネットが2社を吸収合併、各セグメント1社体制に

メモリ製品製造販売  
(メモリ)

株式会社アドテック

メモリ製品の製造・販売、IoTソリューション事業 等

通信コンサルティング  
(通信)

株式会社バディネット

エンジニアリング事業、コンタクトセンター事業 等

※iconic Storageとトランセンエンジニアリングは2021年4月1日にバディネットに吸収合併

HPC  
(HPC)

株式会社HPCテック

科学技術コンピュータの製造・販売

その他  
(その他)

株式会社ダイヤモンドペッツ&リゾート

旅館事業、ペット商品事業、IT事業、イベント事業  
不動産事業 等

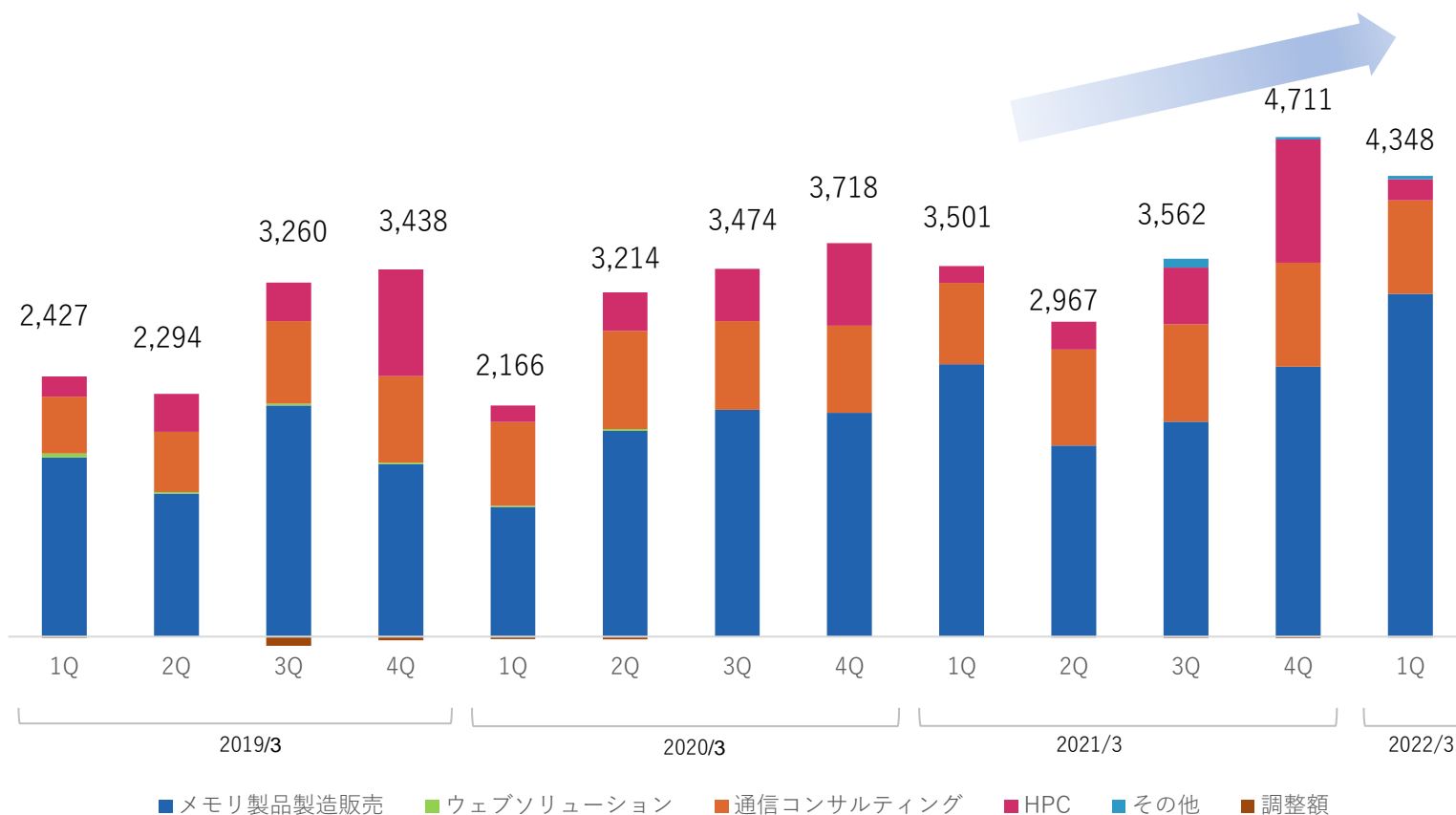
概況

## コロナ禍継続も全報告セグメントで増収

連結	<p>コロナ禍継続も、報告セグメント好調で増収増益達成</p> <p>売上高 : 4,348 前年同期比 : 124.2%</p> <p>営業利益 : 112 前年同期比 : 107.8%</p>
メモリ製品製造販売 (メモリ)	<p>部材需要増加継続に加え、法人向けメモリ復調で増収増益</p> <p>売上高 : 3,239 前年同期比 : 125.9%</p> <p>営業利益 : 131 前年同期比 : 157.6%</p>
通信コンサルティング (通信)	<p>合併後のバディネット拡大続くも、移転一時費用等で減益</p> <p>売上高 : 883 前年同期比 : 114.8%</p> <p>営業利益 : 32 前年同期比 : 56.5%</p>
HPC (HPC)	<p>市場環境に改善みられ回復基調、増収増益</p> <p>売上高 : 198 前年同期比 : 124.5%</p> <p>営業利益 : 3 前年同期比 : - (+7)</p>
その他 (その他)	<p>相次ぐ緊急事態宣言の影響で、営業損失計上</p> <p>売上高 : 33 前年同期比 : -</p> <p>営業利益 : -17 前年同期比 : -</p>

## 連結売上高

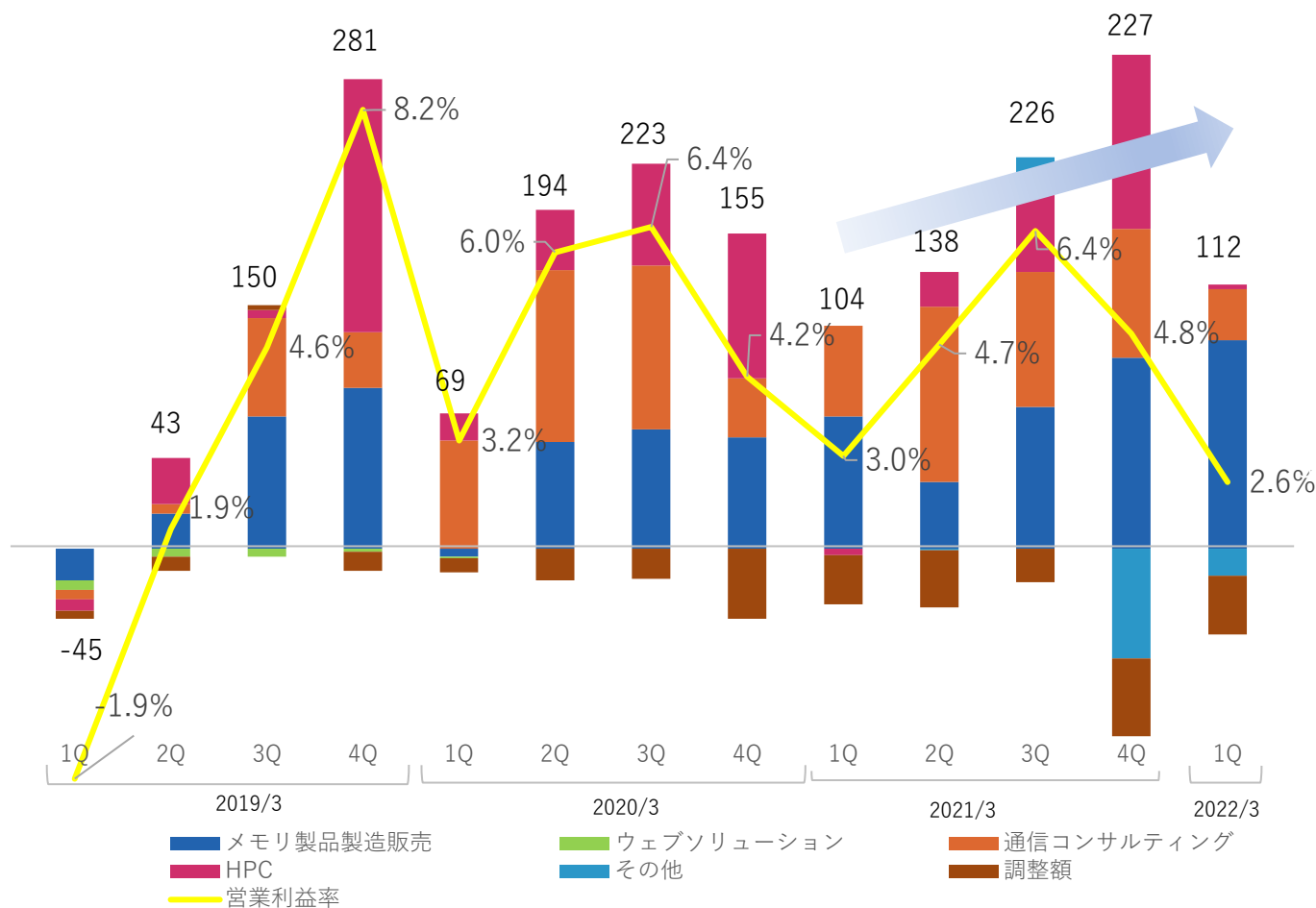
### PC部材販売好調継続、メモリは想定を大きく超える



※ 調整額はセグメント間の内部売上高または振替高

## 連結営業利益

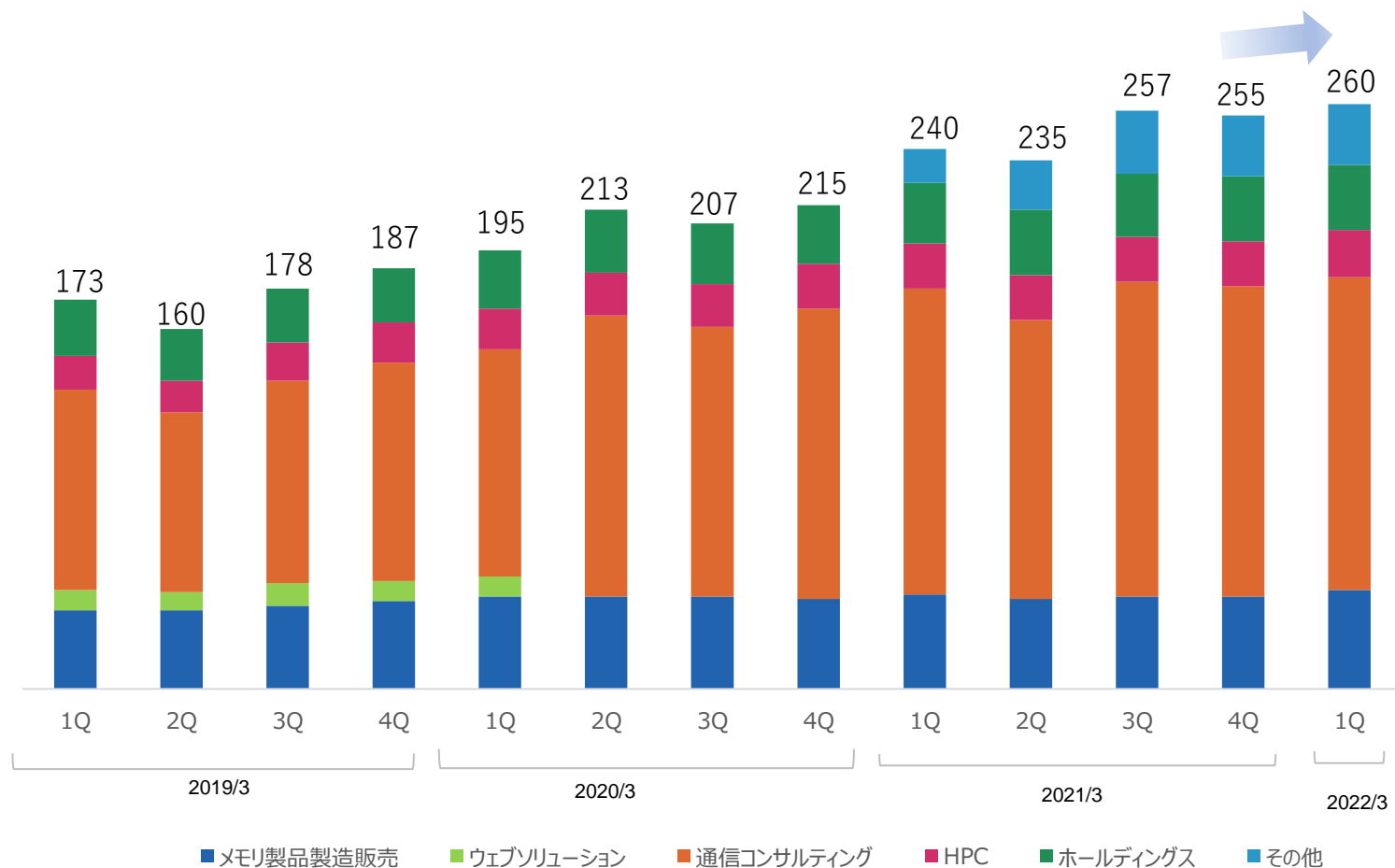
### 通信、移転等一時費用、その他赤字吸収し増益



※ 調整額はセグメント間の内部売上高または振替高

## 役職員数

### 事業拡大に合わせて順調に人員増加

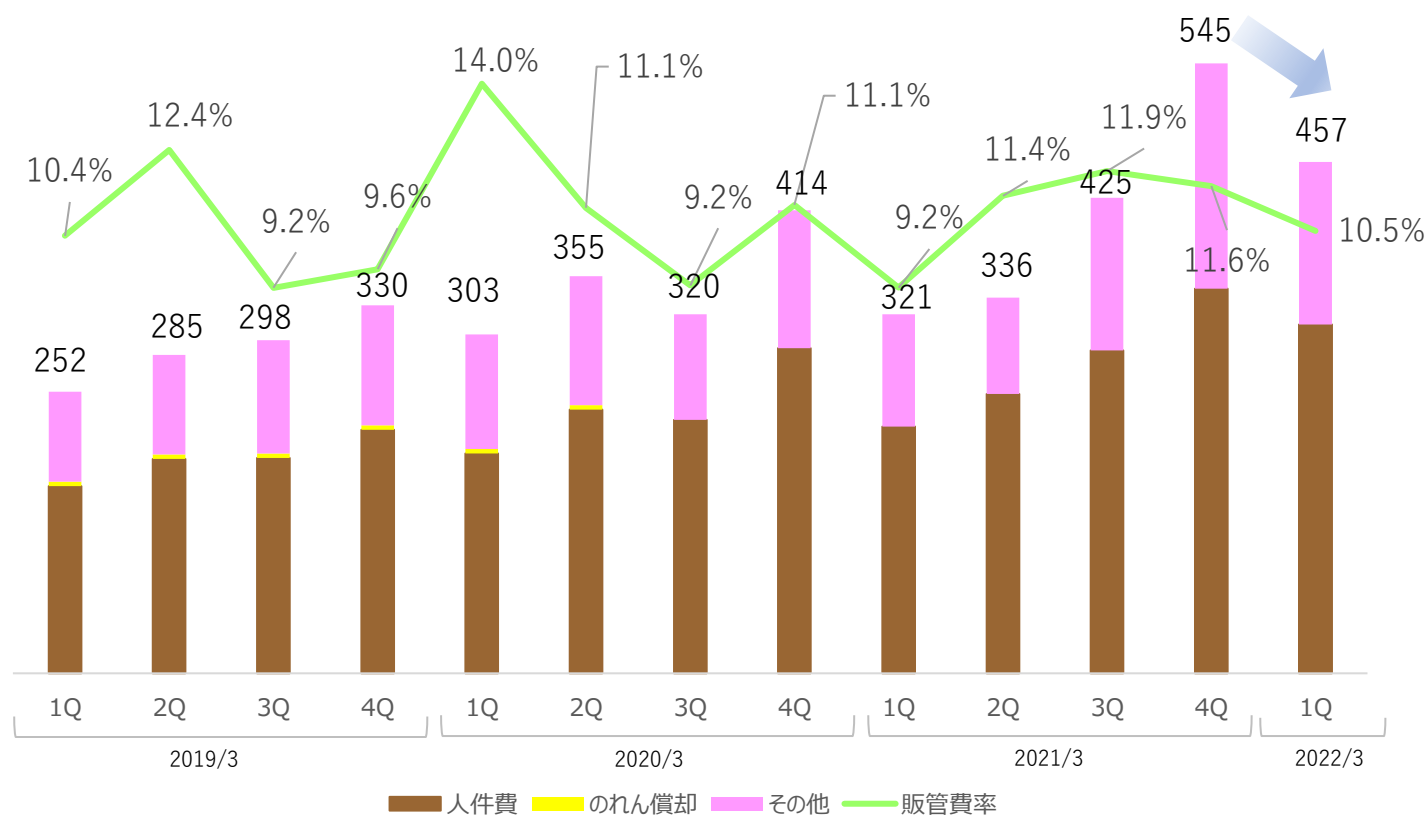


※ 各年度末実績、役職員 = 役員、正社員、契約社員、アルバイト



## 販売費及び一般管理費 会計期間

### 新規事業開業費償却等特殊要因なく販管費率改善



※ 人件費 = 給与、役員報酬、賞与、退職金、通勤交通費、法定福利費、採用費、教育費、福利厚生費（引当金含む）

## 連結貸借対照表

## 四半期利益計上で利益剰余金引き続き増加

	2021年3月期 期末	2022年3月期 第1四半期末	前期末比	トピックス
流動資産	7,976	7,778	97.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前Q比売上高減少で売掛債権、買掛債務減少</li> <li>・税金支払等あり現預金減少</li> <li>・メモリ需要旺盛、部材調達難対策で棚卸資産が増加</li> <li>・借入金水準維持</li> <li>・引き続き利益剰余金増加続く</li> </ul>
現預金	3,752	3,585	95.5%	
売掛債権	3,351	2,726	81.4%	
棚卸資産	705	1,187	168.3%	
固定資産	403	436	108.1%	
繰延資産	—	—	—	
資産合計	8,380	8,215	98.0%	
流動負債	5,414	5,139	94.9%	
短期借入金	2,800	2,900	103.6%	
買掛金	1,644	1,540	93.7%	
固定負債	718	753	104.9%	
長期借入金	596	603	101.2%	
負債合計	6,133	5,893	96.1%	
株主資本	2,042	2,115	103.6%	
資本金	700	700	100.0%	
利益剰余金	872	946	108.4%	
負債・純資産合計	8,380	8,215	98.0%	

# 1.2022年3月期第1四半期決算

## 連結損益計算書

### メモリ売上高大幅増加、一時的な販管費増こなし増収増益

	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前期比	トピックス
売上高	3,501	4,348	124.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全報告セグメントで増収</li> <li>・原価率低減で売上総利益上昇</li> <li>・バディネット業容拡大による移転、増床で一時費用計上、販管費増加</li> <li>・その他セグメントは赤字計上</li> <li>・収益規模拡大で、増加販管費及びその他セグメントの損失吸収し増益確保</li> </ul>
売上原価	3,076	3,778	122.8%	
売上総利益	425	569	134.0%	
販売費及び一般管理費	321	457	142.5%	
営業利益	104	112	107.8%	
営業外収益	4	7	166.7%	
営業外費用	5	9	163.8%	
経常利益	102	110	107.1%	
特別利益	—	—	—	
特別損失	—	—	—	
税金等調整前当期純利益	102	110	107.1%	
法人税等合計	40	35	87.3%	
当期純利益	61	74	120.1%	
非支配株主に帰属する当期純利益	-2	0	—	
親会社株主に帰属する当期純利益	64	73	115.1%	

1. 2022年3月期第1四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
  - ①メモリ製品製造販売事業
  - ②通信コンサルティング事業
  - ③HPC事業
  - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

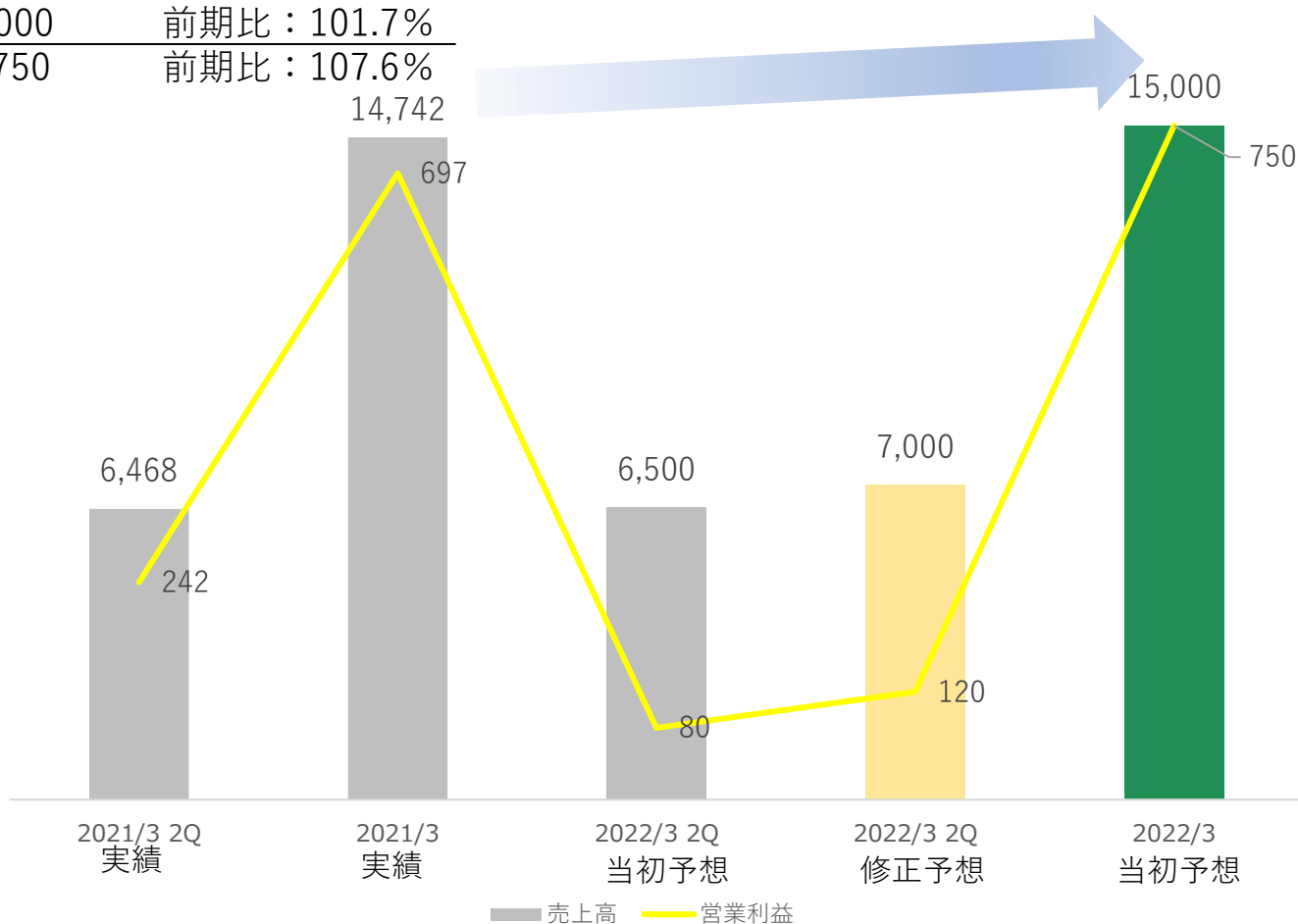
## 業績予想

### 成長投資と5期連続増収営業増益の両立を目指す

第1四半期の業績進捗状況から、第2四半期累計期間の業績予想を上方修正  
 一方、PC市況、メモリの調達状況の不透明感を考慮し、通期は据え置き

[通期予想]

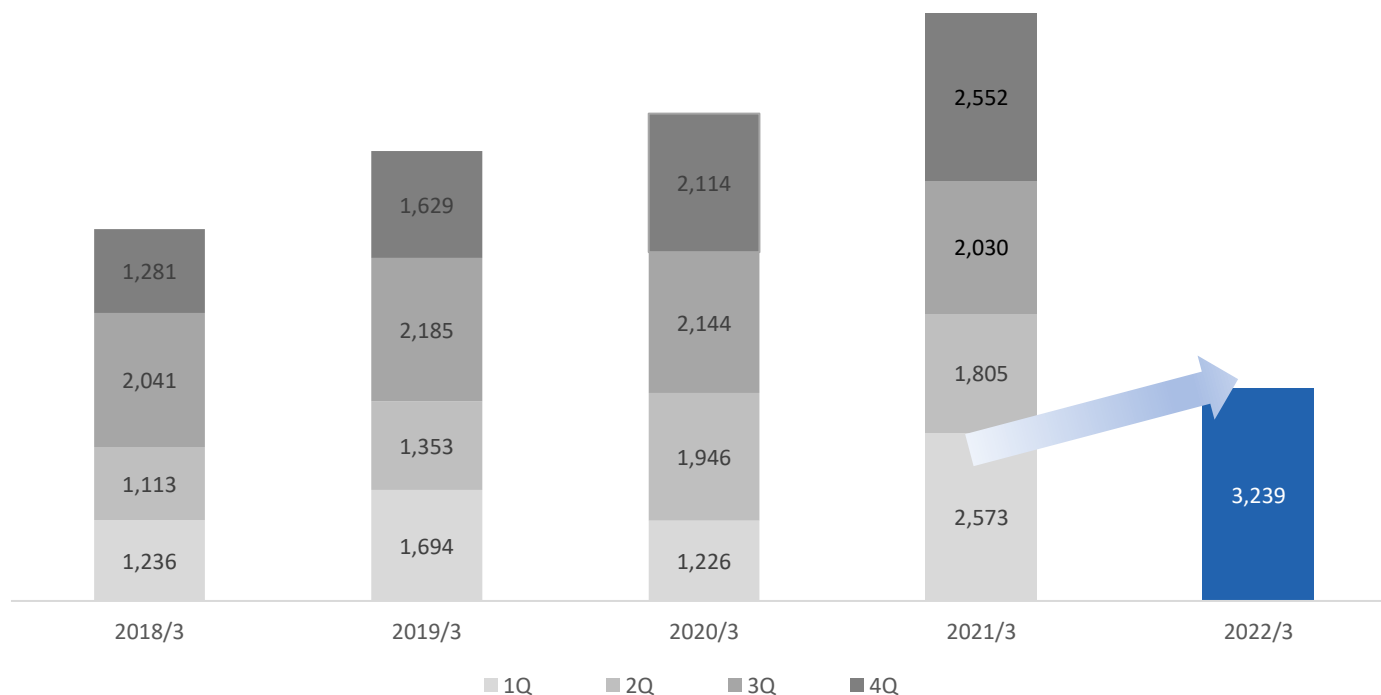
売上高：15,000	前期比：101.7%
営業利益：750	前期比：107.6%



1. 2022年3月期第1四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
  - ①メモリ製品製造販売事業
  - ②通信コンサルティング事業
  - ③HPC事業
  - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

#### 売上高

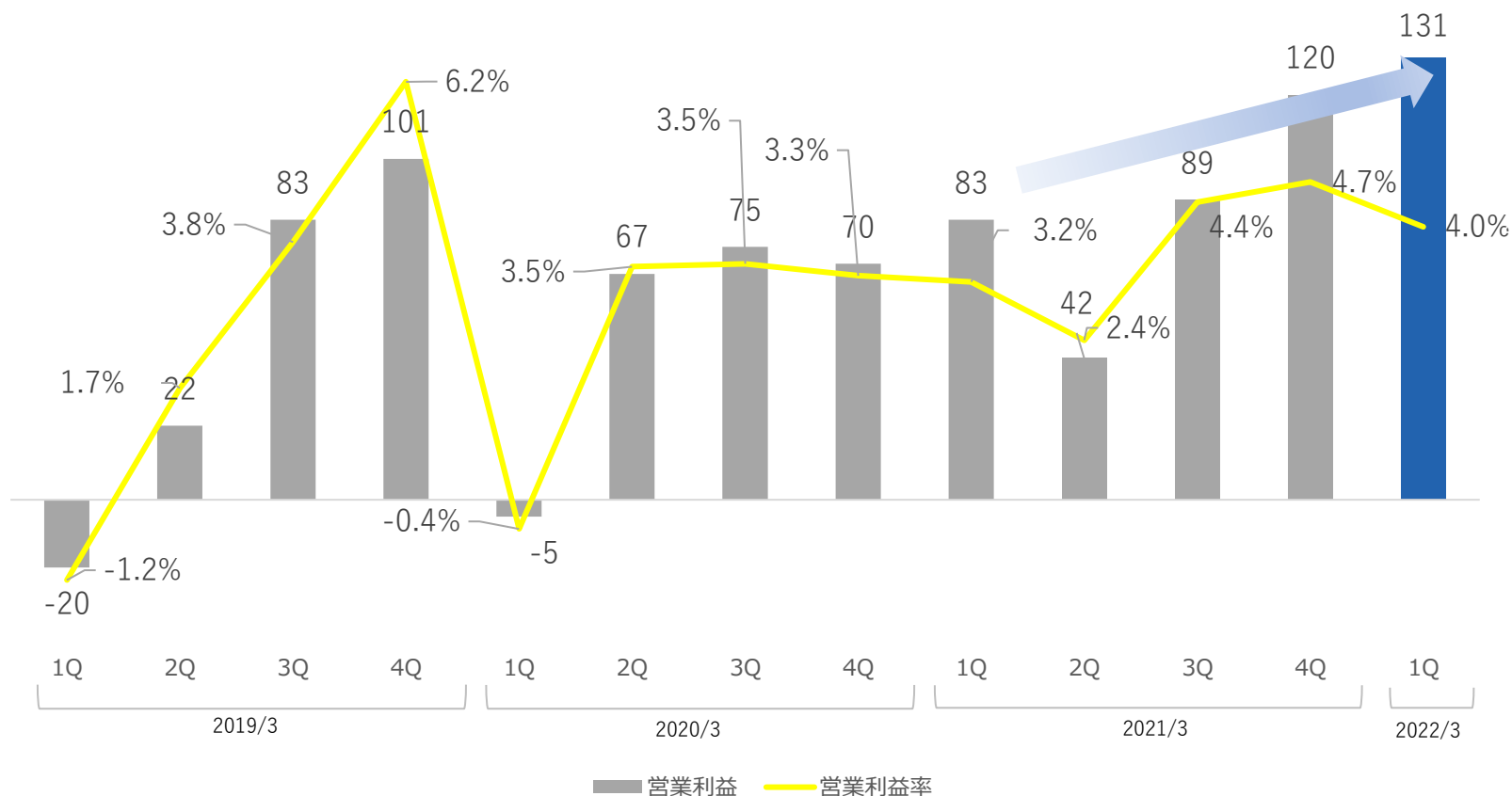
- ・ 前期コロナ禍の影響が大きかった法人向けメモリ需要が復調
- ・ PC部材販売好調継続、部材需要引き続き高く想定を大きく超える
- ・ 半導体部品供給不足を見越した先行確保で、販売機会の損失を防ぐ
- ・ IoT事業は引き続き安定的に推移



### 3.セグメント別概況 メモリ製品製造販売事業

#### 営業利益 会計期間

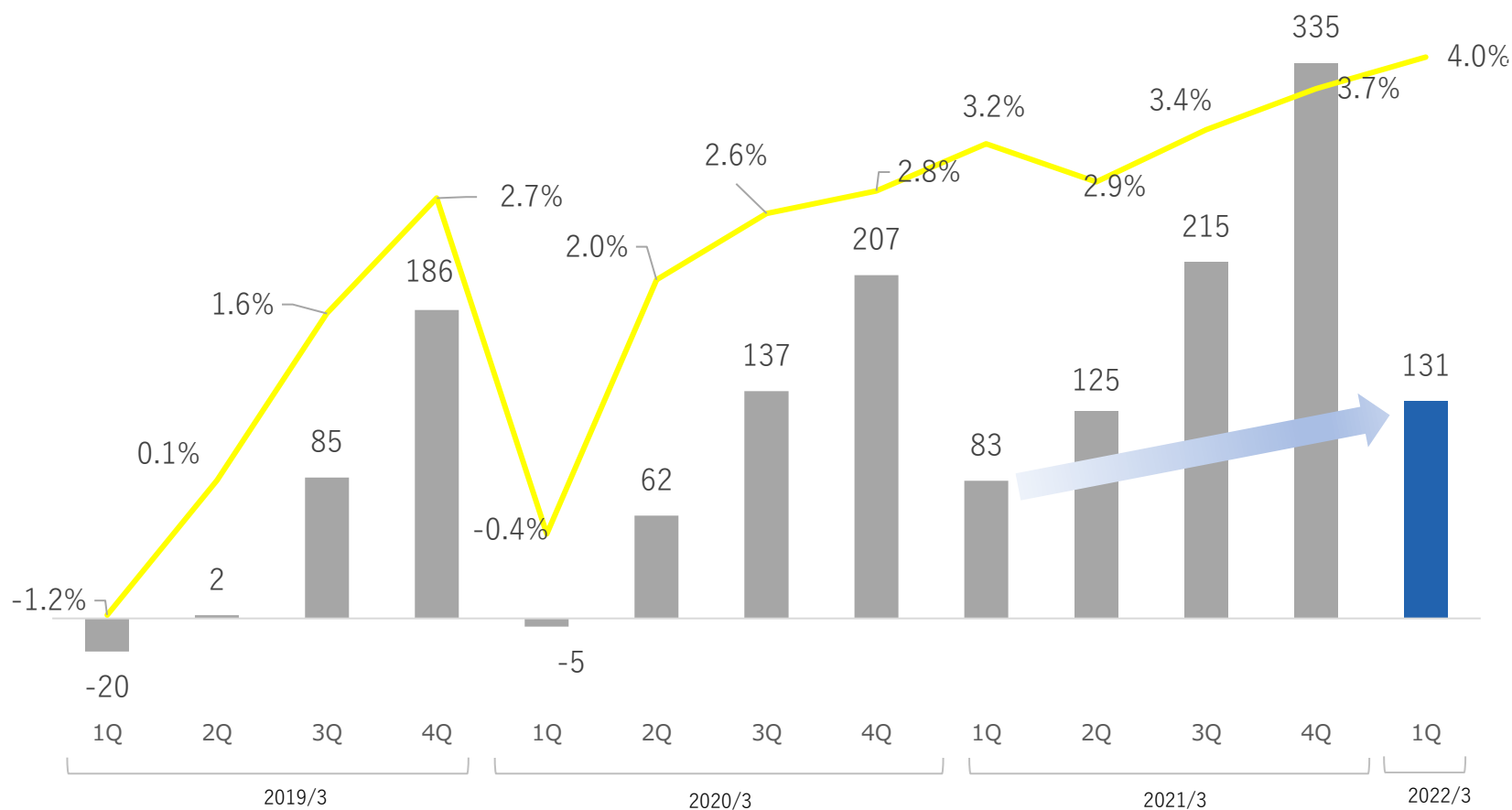
- ・法人向けメモリ復調、半導体部品の価格高騰も適切な販売価格設定で利益確保
- ・IoT事業の付加価値の高い開発案件獲得もあり、利益率向上
- ・対予算ベースで販管費抑制続く
- ・新製品の開発、量産化や、既存事業と組み合わせた新ビジネスモデルで利益増加図る





### 3.セグメント別概況 メモリ製品製造販売事業

#### 営業利益 累計期間



■ 営業利益    — 営業利益率

## ニューストピックス

### 新製品の開発、新商材投入に注力

2021年5月7日 [新製品]  
組み込み用途/産業用途SSD 3種

産業機器向けに特化した製品を開発、発表。  
2021年6月下旬販売開始。



2021年5月12日 [取り扱い開始]  
ASRock Industrial 製品 取扱開始

クリティカルな要件を必要とする、産業用製品のソリューションベンダーであるASRock Industrialの製品取り扱いを開始。  
協業によりIPCソリューションを提供。



2021年5月14日 [新製品]  
バッテリーセンシングIoT

バッテリーの寿命を遠隔で監視出来るシステム。  
各種通信方式 (NB-IoT、LTE、Cat.M1、LPWA等) に対応し、クラウド上で常時監視が可能なバッテリーセンサーをオリジナル開発。



2021年5月 [新製品]  
ニューラルプロセッシングユニット搭載 Verdin iMX8M Plus

Toradex®の正規代理店として、CPUモジュールとキャリアボードの代理店販売を実施。  
アプリ開発を早期に取り組めるAI開発キットの販売を開始。



※ 第1四半期累計期間終了後、2021年8月11日までに発表した情報を含む

## ニューストピックス

# 新製品の開発、新商材投入に注力

2021年6月9日 [取り扱い開始]  
AMD CPU搭載ワークステーション

本年3月に発売開始になった最新のAMD社のワークステーション向けCPU「Ryzen Threadripper PRO」を搭載した4GPU ワークステーションの取り扱いを2021年6月より開始。



#### HPCT WR13as-4GP 特徴

- ・ワークステーション / 5U ラックマウント
- ・AMD Ryzen Threadripper PRO シリーズを1基搭載
- ・NVIDIA GPU 最大4基まで搭載可
- ・DDR4-3200 を8枚搭載 最大2TB
- ・3.5/2.5 インチ SATA3 : 4 bays
- ・2.5 インチ SATA3 : 2 bays
- ・M.2 PCI-E 4.0 : 4 slots
- ・U.2 PCI-E 4.0 : 2 sockets
- ・PCI-E 4.0 Expansion : 6 slots
- ・10GBase-T LAN : 1 port
- ・1GbE LAN : 1 port (shared with IPMI)
- ・VGA : 1 port (dedicated for IPMI)
- ・7.1 HD Audio
- ・USB 3.2 Gen2x2 support
- ・2000W Platinum Level Power Supply

2021年7月7日 [販売開始]  
GaN搭載105W PD充電器など 販売開始

BtoC向け、高出力対応105W・65W・20W出力対応PD充電器の販売開始。

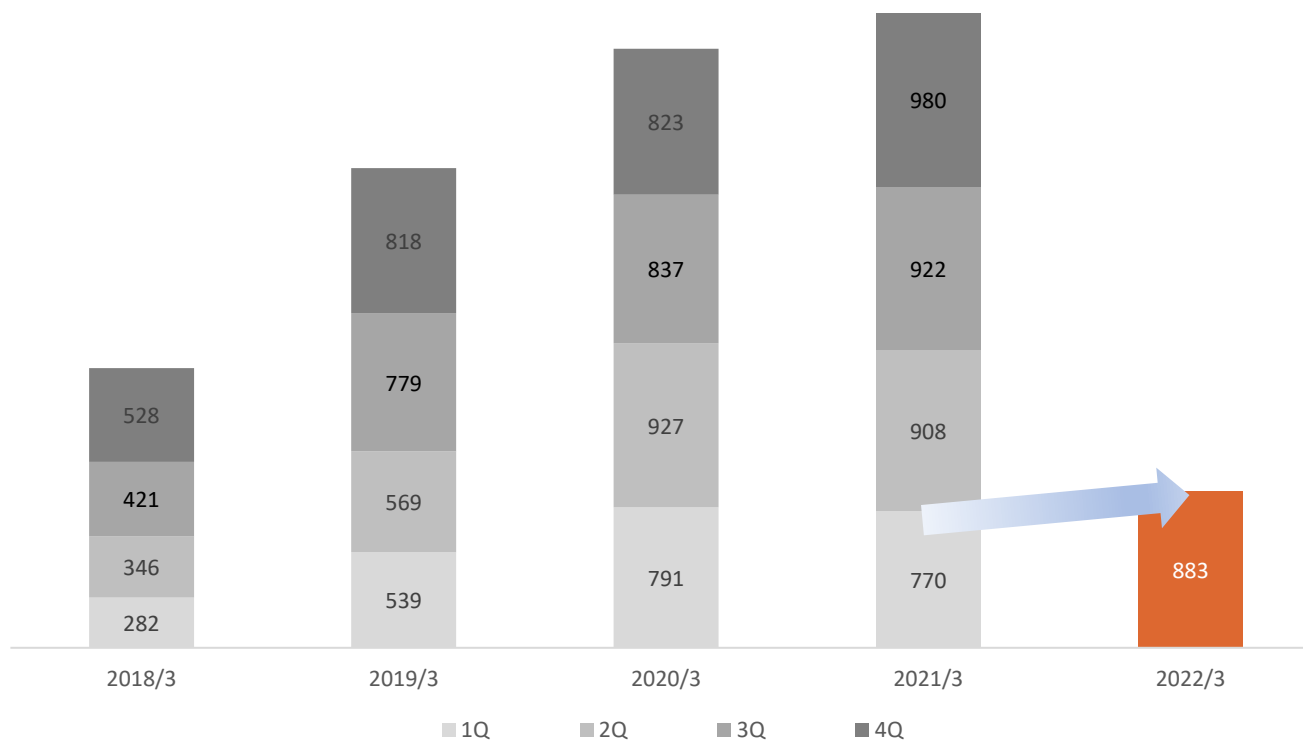


※ 第1四半期累計期間終了後、2021年8月11日までに発表した情報を含む

1. 2022年3月期第1四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
  - ①メモリ製品製造販売事業
  - ②通信コンサルティング事業
  - ③HPC事業
  - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

#### 売上高

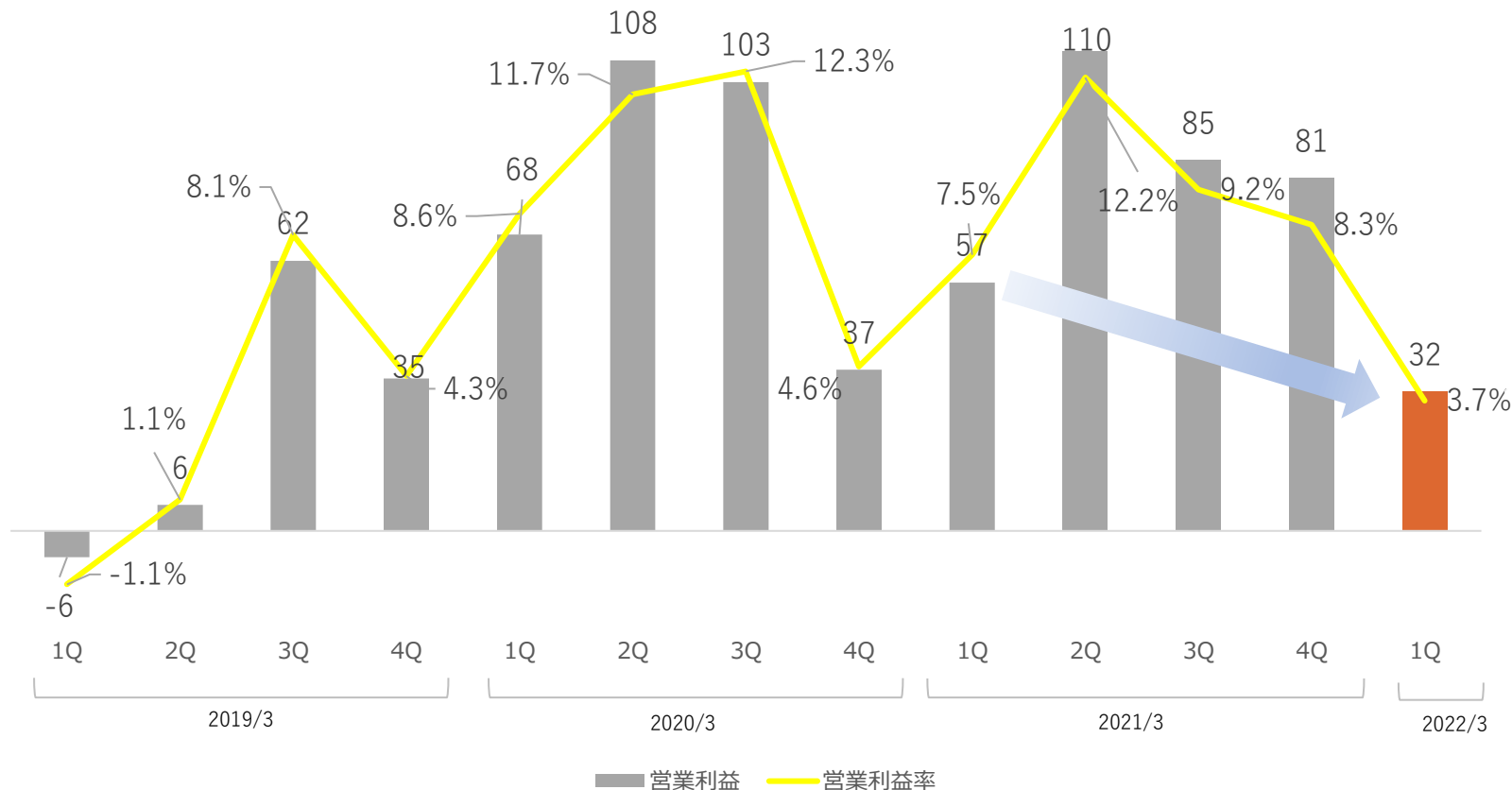
- ・通信建設事業、屋内電波対策に加え、家庭向け光回線関連工事増加で増収
- ・東京コンタクトセンターの事業拡大に伴い増収、需要増に伴いブース拡張
- ・2021年4月の合併実施の3社合併の効果を追求
- ・『ポリマテリアル®充填』工事及び関連事業の取り組み強化



### 3.セグメント別概況 通信コンサルティング事業

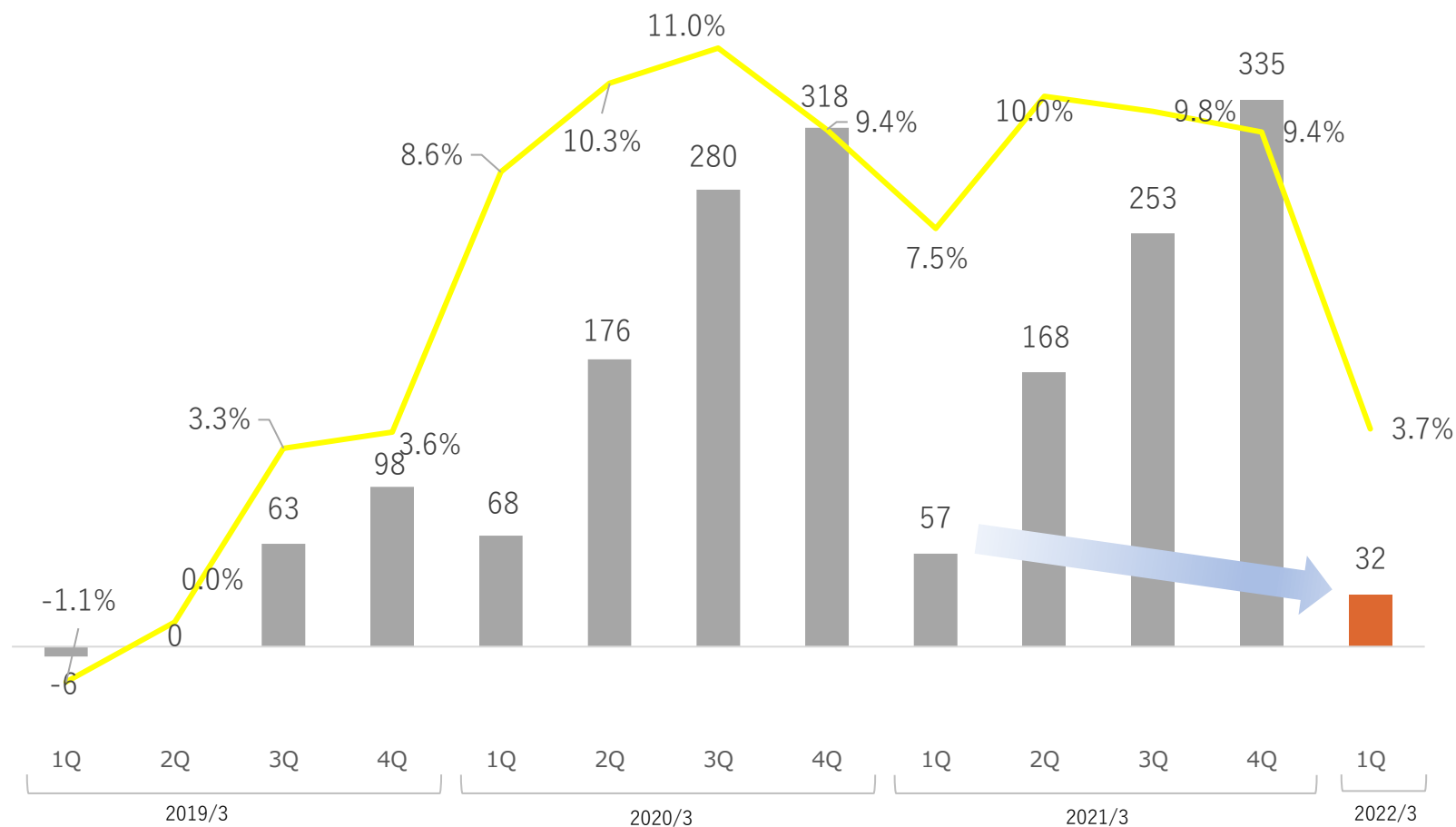
#### 営業利益 会計期間

- ・ 事業規模拡大で売上総利益が増加
- ・ 業容拡大による移転、増床、採用費、人員増加による人件費の先行で一時的減益
- ・ 4月の3社合併により体制、機能強化
- ・ コンタクトセンター事業、オペレータの内製化促進で利益率向上図る



### 3.セグメント別概況 通信コンサルティング事業

#### 営業利益 累計期間



■ 営業利益    — 営業利益率

## ニューストピックス

### 下期の事業拡大に備え、積極投資でインフラ整備

#### 2社の吸収合併により、体制・機能を強化

コンタクトセンターの**iconicStorage**と、基地局設計の**トランテン・エンジニアリング**を吸収。急速に拡大しているIoT市場において、バディネットには主力事業である工事・保守のみならず、運用までを含めたワンストップでの対応を求めるニーズの急増に対応することが目的。



#### 本社移転で総床面積2.2倍、1フロア集約で組織連携強化

複数フロアに分かれていた執務室・共有部を1フロアに集約。事業拡大に備え、社員間・部署間の連携強化と、デザインオフィスで社員ロイヤリティと採用を強化。

※旧本社スペースはコールセンター（100席）に生まれ変わります。< 8月OPEN >



#### 資本金を1億円に増資

資本金を上げることで対外的な信用度向上を図り、更に事業規模の拡大を加速していくことが目的。

◀ 資本金の変更 ▶ ◆増資前の資本金 3,000 万円 ⇒ ◆増資後の資本金 10,000 万円

#### 【今後】M&Aの積極化

業容拡大に備え、通信建設工事業、人材事業、コンタクトセンター事業を中心に、従来の採用だけではなく、バディネットの中核をなす人材や事業を獲得することを目的としたM&Aを積極化させていく。





## ニューストピックス

### Our Service

#### ポリマテリアル®充填工法

ソフトバンク社での工事は進捗、工事数は3Q~来期にかけて増加見込。  
様々なパターンの支持柱へ対応できる施工方法を確立する為の各種検証・トライアル施工、  
その他ポリマテ充填治具の新機種の開発・実証実験を実施。  
また、トランテン・エンジニアリング社の吸収合併により、設計部隊の大幅増強で、ポリマテリアル®充填工法以外の基地局補強工事（従来方法）も増加見込み。

▶携帯基地局補強のトータルソリューションへ

■世界初となる画期的な技術  
ポリマテリアル®充填施工



### Our Solution

#### 通信建設事業の拡大

- ・キャリア屋内電波対策工事の件数増大、キャリア3Gサービス終了に伴うマイグレーション施策（3Gを下げて5Gを上げる）のトライアル工事の実施も数字を引き上げ。（本格化は3Q~予定）
- ・コロナ禍による各種DX・IT化が追い風
  - ▶家庭向けインターネット工事・カメラ関連工事・電子黒板、IoTデバイス（センサー等）工事が今期大幅に拡大

#### コンタクトセンター事業の拡大

コロナ禍による各種DX・IT化が追い風 ▶ 主力である通信サービスサポート業務が拡大

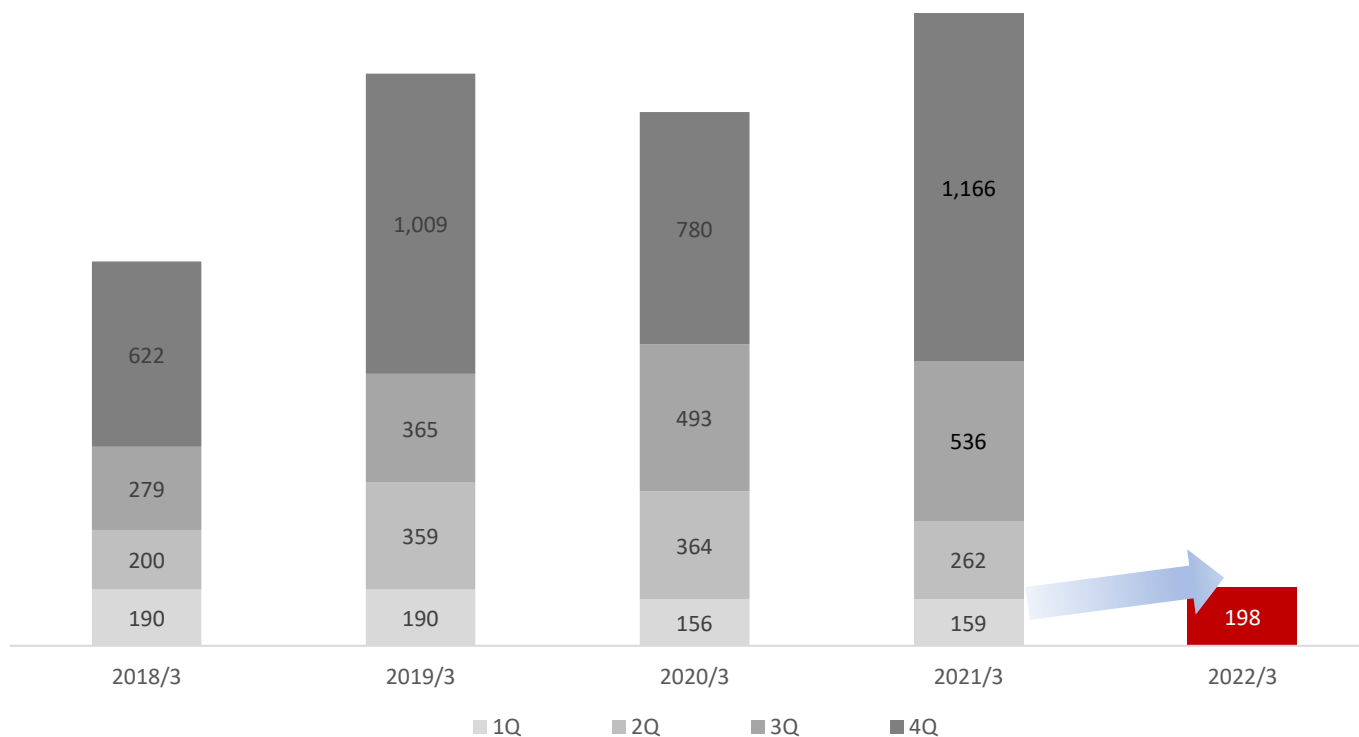
特に宅内インターネット工事関連サポート業務及び、IoTサービス運用サポート業務の成長が大きい。  
iconicStorage社の合併により、工事・保守・運用のトータルソリューションを自社で提供可能になったこと  
で、今後の成長著しいIoT市場を『創っていく・守っていく』企業としてシェアNo.1を目指す。

※ 第1四半期累計期間終了後、2021年8月11日までに発表した情報を含む

1. 2022年3月期第1四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
  - ①メモリ製品製造販売事業
  - ②通信コンサルティング事業
  - ③HPC事業
  - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

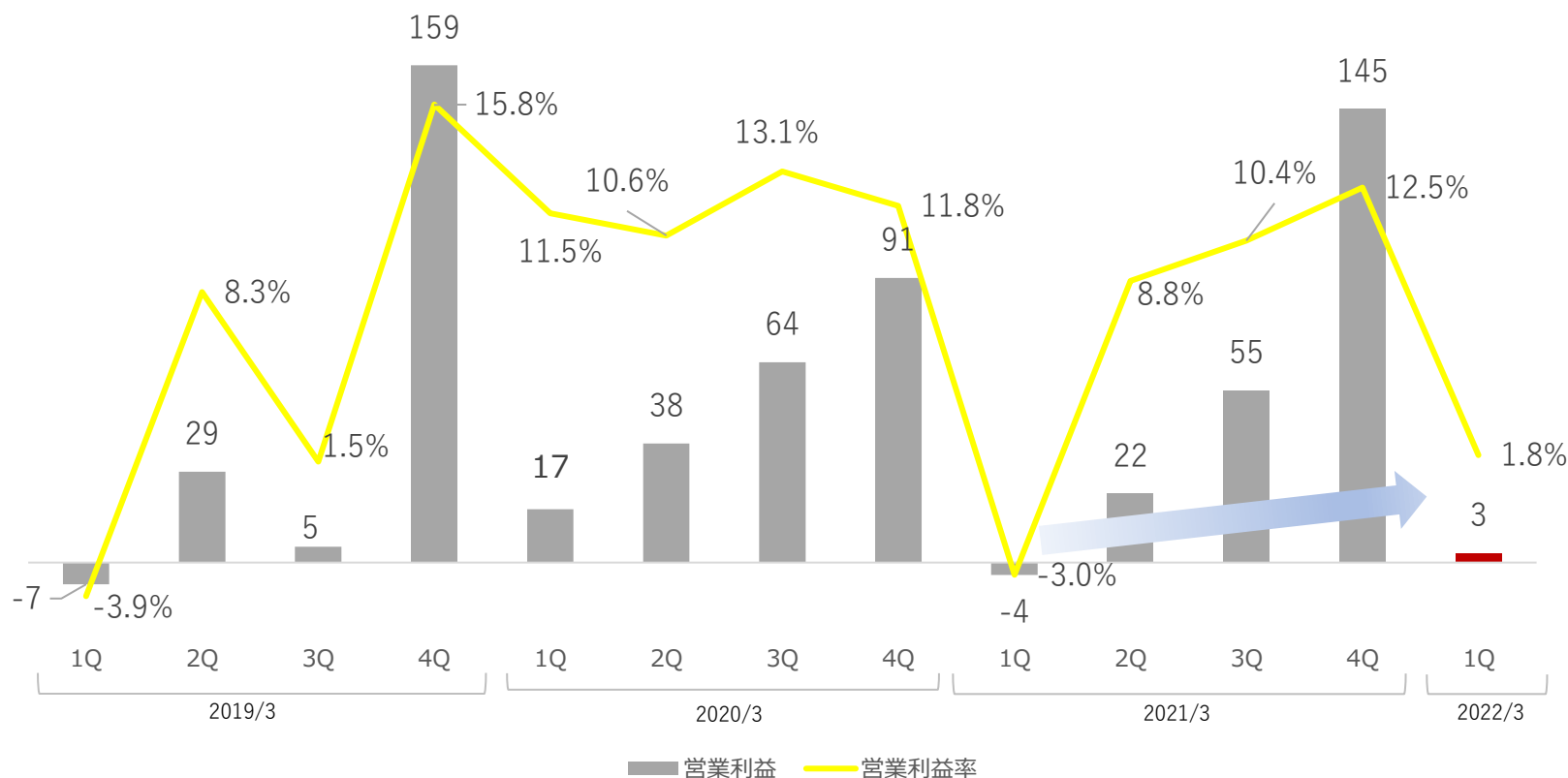
#### 売上高

- ・ 対面での営業機会の減少続くも、コロナ禍でのコミュニケーション手法浸透で改善
- ・ 受注増加も、半導体不足による部品調達難で計上は相対的に伸び悩む
- ・ 営業機会減少続く中、既存顧客への再アプローチに注力
- ・ オンラインイベント等参加で受注増加図る



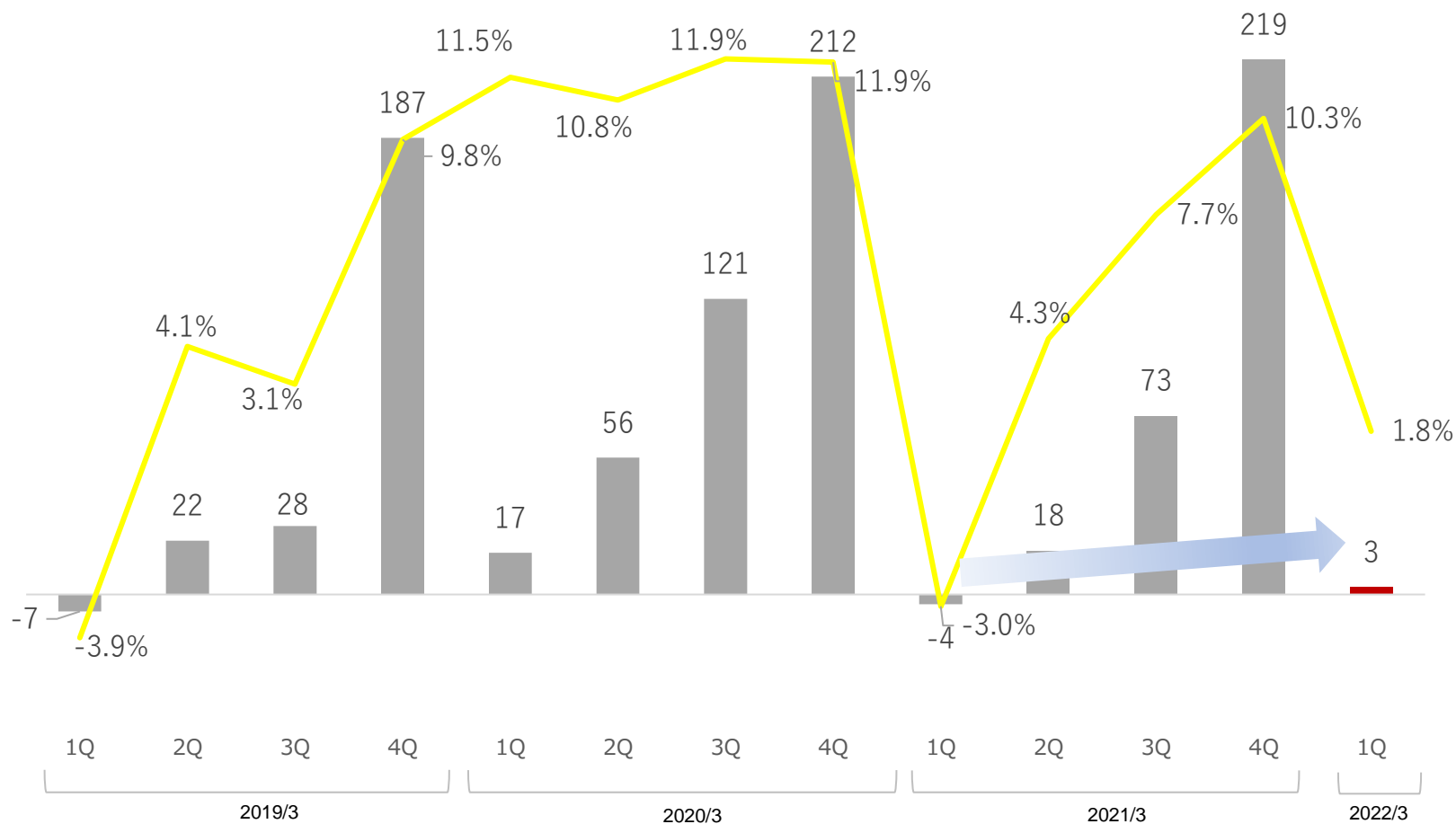
## 営業利益 会計期間

- ・増収を背景に黒字化
- ・取引インセンティブ含め、売上総利益拡大
- ・対面営業機会の減少続く中、案件数確保に注力で総額は増加
- ・体制強化のための人件費、営業活動一部再開による旅費交通費増加で販管費増加



### 3.セグメント別概況 HPC事業

#### 営業利益 累計期間



■ 営業利益    — 営業利益率

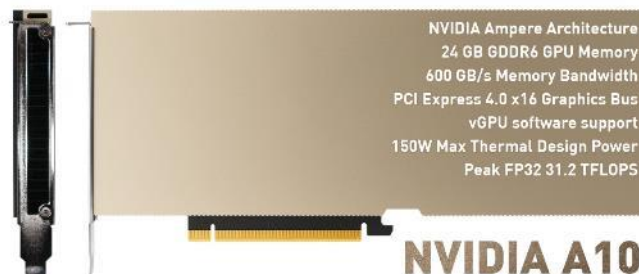
## ■ ニューストピックス

### 新製品のラインナップ拡大、強化

2021年5月10日 [取り扱い開始]  
NVIDIA A30



2021年5月11日 [取り扱い開始]  
NVIDIA A10



2021年5月21日 [取り扱い開始]  
Intel CPU搭載シリーズ



2021年5月31日 [昇格]  
ソリューションプロバイダー Visualization  
コンピテンシーの Preferred に昇格



※ 第1四半期累計期間終了後、2021年8月11日までに発表した情報を含む

#### ■ ニューストピックス

## 教育機関向けキャンペーン実施

2021年6月4日 [キャンペーン]  
NVIDIA DGX STATION A100

教育機関のお客様を対象にNVIDIA DGX Station A100 を特別価格にて提供する特別キャンペーンを実施。



2021年3月9日 [導入事例]  
8割おじさんお客様に

主に感染症を対象とした研究をされています京都大学 西浦博研究室様に製品を導入いただきました。



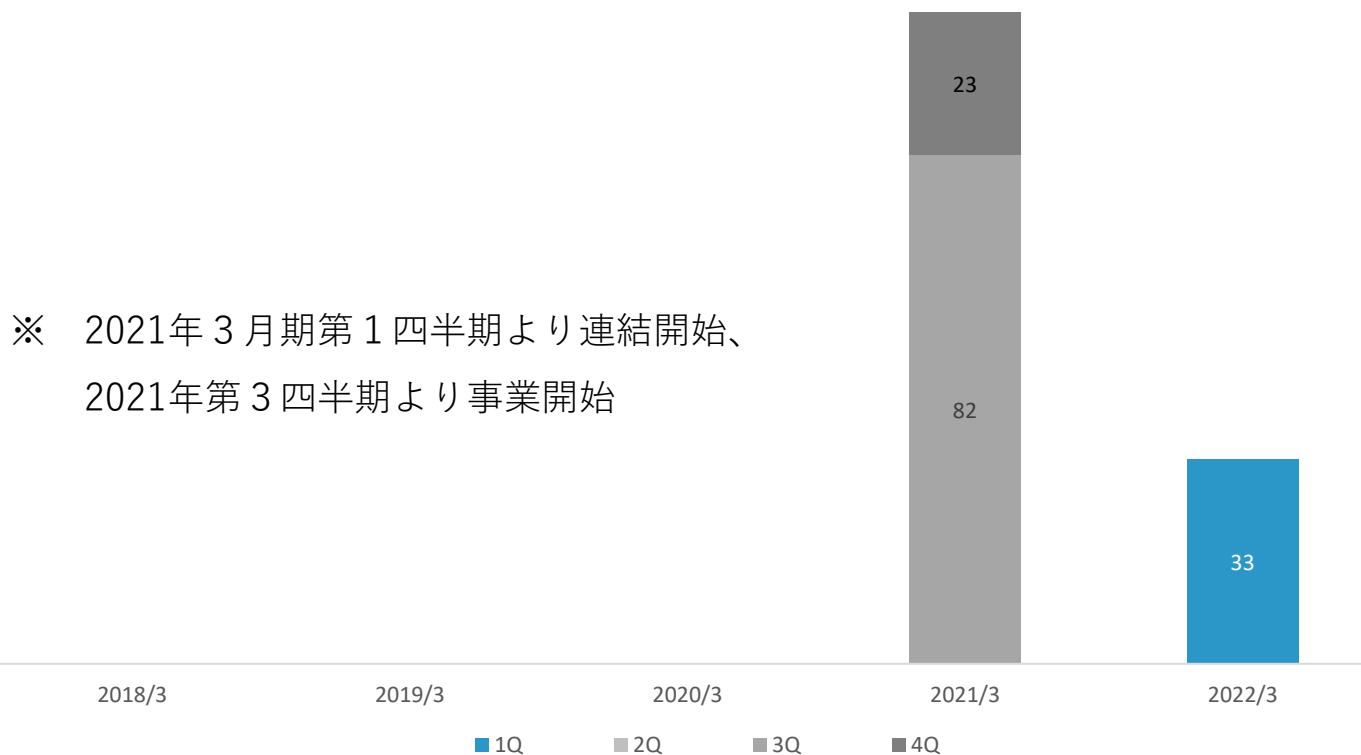
※ 第1四半期累計期間終了後、2021年8月11日までに発表した情報を含む

1. 2022年3月期第1四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
  - ①メモリ製品製造販売事業
  - ②通信コンサルティング事業
  - ③HPC事業
  - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明



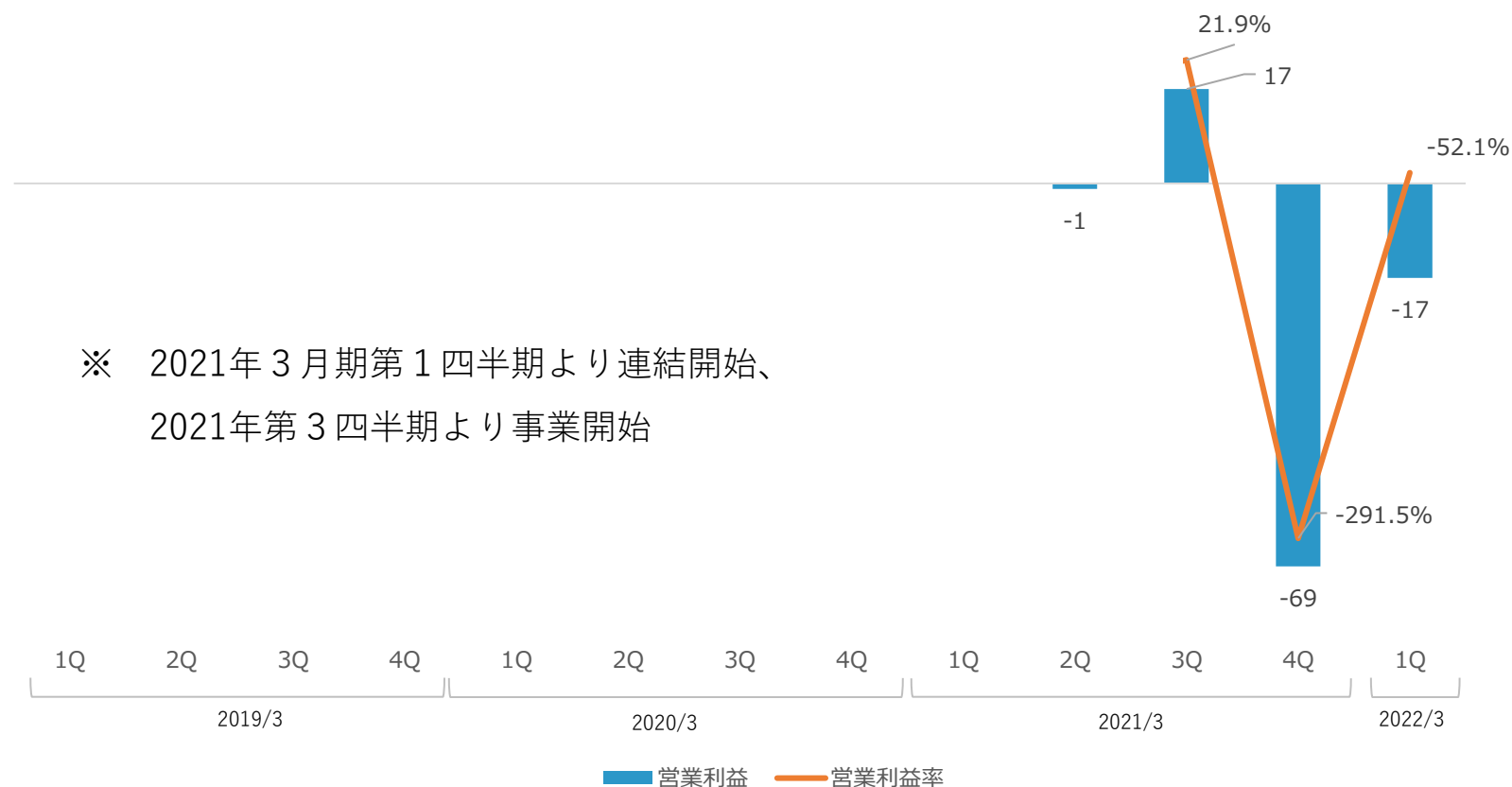
#### 売上高

- ・ 緊急事態宣言の影響により予約分もキャンセル多発
- ・ 地元需要の喚起もターゲットに日帰りプラン開始
- ・ 各種紙媒体、WEB媒体の広告施策を実施、緊急事態宣言終了後の誘客準備進める
- ・ 営業正常化後の誘客、顧客満足度向上によるリピート率向上図り修繕、設備改善に注力



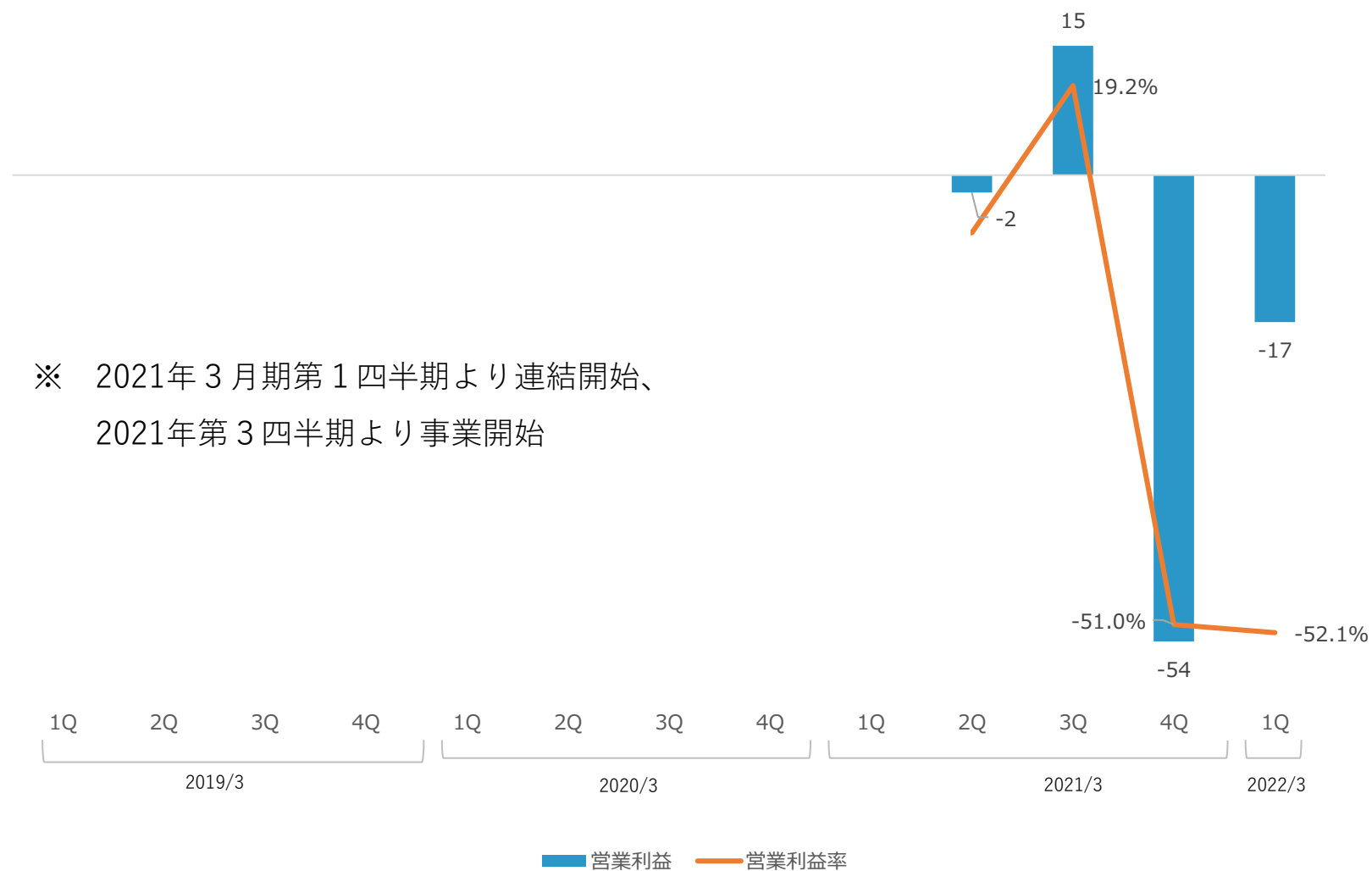
#### 営業利益 会計期間

- ・ 緊急事態宣言の影響で売上高減少、固定費削減には限界あり損失計上
- ・ 営業正常化時点での導入で対応可能な消耗品購入等の政策的延期でコスト削減
- ・ シフトコントロール、休館日の利用により、短期的人件費圧縮
- ・ 営業正常化を見越した付加価値増加施策の検討、準備推進



### 3.セグメント別概況 その他事業

#### 営業利益 累計期間



#### ニューストピックス

## 感染防止に注力し営業継続



#### 日帰り利用の予約開始

新たに日帰りプランの予約を開始。  
専用の特別食事メニューを提供。  
その他新プランも予約受付中。



#### 客室露天風呂の修繕実施

サービス、満足度向上のため客室  
露天風呂等、館内設備の修繕を実施。  
今後、その他設備メンテナンスも予定。

※ 第1四半期累計期間終了後、2021年8月11日までに発表した情報を含む

#### ニューストピックス

## 顧客ニーズを踏まえプラン拡充



#### 季節ごとの特別プラン実施

2021年4月 桜プラン

2021年5月 新緑プラン

2021年6月 紫陽花プラン

館内の季節装飾のほか、限定食事メニューも提供



#### 食事、ドリンクメニューの充実

季節料理に合わせドリンクメニューを更新。  
また、フリードリンクプランも新たに開始。

※ 第1四半期累計期間終了後、2021年8月11日までに発表した情報を含む

1. 2022年3月期第1四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
  - ①メモリ製品製造販売事業
  - ②通信コンサルティング事業
  - ③HPC事業
  - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

## 4.総括

### 総括

第1四半期は、新型コロナウイルス感染症の拡大がいまだ終息を見ず、緊急事態宣言が発出され、東京オリンピック・パラリンピックの大半が無観客開催となるなど、事業環境の不透明感が続く状況の中、PC部材販売の好調が継続したことを主因にメモリ事業の業績は想定を大きく超え、第1四半期の進捗度が第2四半期累計期間における見込みを大きく予想を超える水準となり、第2四半期累計期間の業績予想を上方修正することとなりました。他方、半導体製品の供給難が現実的になるケースが現れるなど、市場環境においては予断を許さない状況もあり、通期業績予想は据え置くことといたしました。引き続き、法人向けメモリの回復、IoT事業の順調な推移、バディネット拡大継続、HPCの堅調な推移、及び旅館事業の平常化見込みを背景に、適切な状況分析と、時機に合う意思決定をとおして、通期業績予想の達成に向け努めてまいります。

	実績	予想	予想	予想	予想
	2022年3月期 第1四半期	2022年3月期 第2四半期累計	前期比	2022年3月期 予想	前期比
売上高	4,348	7,000	108.2%	15,000	101.7%
営業利益	112	120	49.5%	750	107.6%
経常利益	110	117	47.8%	750	109.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	73	60	42.7%	400	115.7%
一株当たり当期純利益	8.02円	6.53円	42.7%	43.55円	115.7%

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報及び当該情報に基づく仮定に依拠しているため、リスクや不確実性を含んでいることから、実際の業績等は様々な要因により業績見通し等とは異なる可能性があり、当社がその実現を約束するものではありません。

※2021年7月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を実施しております。  
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「一株当たり当期純利益」を算定しております。

1. 2022年3月期第1四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
  - ①メモリ製品製造販売事業
  - ②通信コンサルティング事業
  - ③HPC事業
  - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明



## <商号>

株式会社AKIBAホールディングス（旧株式会社アドテック）

## <上場市場>

東証JASDAQ市場（スタンダード 証券コード：6840）

## <設立>

1983年2月17日

## <資本金>

7億円

## <事業内容>

グループ会社の統括及び運営

## <決算期>

3月末

## <連結売上高>

147億円（2021年3月期）

## <役員数>

255名（連結 2021年3月末日）

## <本社所在地>

〒104-0045

東京都中央区築地2-1-17 陽光築地ビル

Tel：03-3541-5068(代表) Fax：03-6260-6258

## <拠点>

株式会社アドテック：町田R&Dセンター、大阪営業所

株式会社バディネット：大阪営業所、福岡営業所

和歌山コンタクトセンター

株式会社ダイヤモンドペッツ&リゾート：鬼怒川絆

## <役員>

代表取締役社長 馬場 正身

取締役 管理本部長 CFO 五十嵐 英

取締役 管理本部副本部長 富山 理布

取締役 グループ監査室長 後藤 憲保

取締役（社外） 丸山 一郎

取締役（社外） 黒部 得善

取締役（社外） 後藤田 翔

常勤監査役 石本 圭司

監査役（社外） 西田 史朗

監査役（社外） 中川 英之

補欠監査役（社外） 藤浪 努

## <会計監査人>

KDA監査法人

## <株主名簿管理人>

三井住友信託銀行株式会社

## <顧問弁護士>

原 大二郎（ライジング法律事務所）

谷口 明史（北浜法律事務所）

1983年（昭和58年）	2月	株式会社アドテックを設立
1993年（平成5年）	6月	パソコン用増設メモリモジュールの製造販売を開始
1997年（平成9年）	10月	株式額面変更のため株式会社エフ・ケー・インターナショナルと合併
1998年（平成10年）	11月	日本証券業協会に株式を店頭登録
2004年（平成16年）	12月	ジャスダック証券取引所（現 東京証券取引所JASDAQ（スタンダード））に株式を上場
2013年（平成25年）	5月	株式会社エッジクルー（現 連結子会社）を設立
同年	7月	大阪証券取引所と東京証券取引所の現物市場の統合に伴い、東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に株式を上場
2013年（平成25年）	12月	株式会社チームエンタテインメントを買収
2015年（平成27年）	1月	株式会社バディネット（現 連結子会社）を買収、バディネットの完全子会社である株式会社モバイル・プランニングもグループに加わる
同年	10月	株式会社AKIBAホールディングスに商号変更、新設分割により株式会社アドテック（現 連結子会社）を設立、純粋持株会社体制に移行
同年	12月	株式会社AKIBA LABO福岡を設立。福岡県飯塚市においてソフトウェア開発拠点を設置
2016年（平成28年）	3月	iconic Storage株式会社を買収
2017年（平成29年）	1月	株式会社HPCテック（現 連結子会社）を買収
2018年（平成30年）	2月	株式会社チームエンタテインメント株式を売却
2018年（平成30年）	11月	子会社の現物配当により株式会社モバイル・プランニングを直接保有の完全子会社化
2019年（令和元年）	7月	ウェブソリューション事業を株式会社バディネットに移管、通信コンサルティング事業に統合
同年	7月	ミナトホールディングス株式会社と業務提携開始
同年	9月	株式会社モバイル・プランニング株式を売却
2020年（令和2年）	5月	株式会社ダイヤモンドペッツ&リゾート（旧 株式会社AKIBA LABO福岡）にて新規事業（ペット同伴温泉旅館「鬼怒川 絆」の運営）開始
同年	10月	ペット同伴温泉旅館「鬼怒川 絆」グランドオープン
同年	10月	株式会社バディネットが株式会社トランテンエンジニアリングを買収
2021年（令和3年）	4月	株式会社バディネットがiconic Storage株式会社と株式会社トランテンエンジニアリングを吸収合併

# グループ企業一覧



## 株式会社AKIBAホールディングス

【純粋持株会社】  
グループ会社の統括及び運営

### メモリ製品製造販売事業

株式会社アドテック



メモリ製品の製造・販売  
パソコン周辺機器等の販売  
IoTソリューション事業

### 通信コンサルティング事業

株式会社バディネット



エンジニアリング事業  
BPO事業  
通信コンサルティング事業  
人材派遣・人材紹介事業  
システム開発・受託事業  
コンタクトセンター事業

### HPC事業

株式会社HPCテック



科学技術コンピュータの製造・販売

### その他事業

株式会社ダイヤモンドペット&リゾート



旅館事業  
ペット商品事業  
IT事業  
イベント事業  
不動産事業

## 独自の技術開発力に基づいた高品質・高付加価値な製品を市場に提供し続けます。

代表取締役社長 下津 弘亨

IT技術の目覚ましい進歩が次の時代の大きな変革となっており、産業界においてもIT技術のさらなる活用と研究・開発、並びに無人化や省力化を実現する自動化技術が進んでいます。私たちアドテックが目指すのは、次の時代へと繋がるテクノロジーを応用した製品やサービスの開発です。これからもアドテックは、ハードウェア、ソフトウェア分野における各種ITソリューションの提供並びにメモリ関連製品の技術の向上を図ります。そしてIT時代の重要な架け橋になる企業となることを目指し、社会の発展に貢献してまいります。

### 事業内容

#### ■ メモリ製品製造・販売事業

パソコン・サーバ用増設メモリ、SDカードや microSDカード、USB フラッシュメモリ、SSD、CFカード、CFastカード等を製造・販売を行います。産業用・工業用・組込用途に適した部品固定・長期安定供給の製品群も数多くラインナップしています。

#### Memory module

##### メモリモジュール

- ▶ パソコン適合検索サイトをご用意  
パソコン・サーバへの対応可否も容易に検索可能
- ▶ 高品質かつ長期安定供給体制の産業用向け製品の多数の納入実績



#### Flash Memory

##### フラッシュメモリ

- ▶ 民生用向け製品では、データ復旧サービスが付属した安心保証（一部製品）
- ▶ 豊富なラインナップの産業用向け製品の多数の納入実績



#### ■ IoTソリューション事業

自動運転やスマートメーター、自販機まで、意識せずにインターネットに繋がるIoTが、広い範囲で我々の生活を支えています。当事業部は、様々な規模のIoTシステムと共に、関連機器、マイコン機器等についても、開発、製造、販売まで取り扱っています。

#### IoT System

##### IoTシステム

- ▶ IoTシステムとモデム、通信モジュールを用いたIoT端末の開発
- ▶ 実績のある協力会社と共に様々な分野のIoTシステム開発に対応します。



#### Toradex®

##### トラデックスモジュール

- ▶ ARM系CPUモジュール
- ▶ Toradex®の代理店販売、キャリアボード開発及び開発サポートを行います。



### 拠点

#### ▶ 大阪営業所

大阪市浪速区日本橋4-16-1  
ユニットコム本社ビル3階

#### ▶ R&Dセンター

東京都町田市小山ヶ丘2-2-5-8  
まちだテクノパーク センタービル7、8階

### 取り組み

#### ■ 最先端メモリからレガシーメモリまでの幅広いラインナップをサポート

DDR4メモリ、M.2 SSD等の最先端メモリから、産業用で長期需要があるDDR1メモリ、SDRAMメモリ、CFカード等のレガシーメモリ迄、幅広い製品ラインナップと製品サポートを継続展開してまいります。

#### ■ メモリメーカーの枠に捉われず、周辺機器メーカーとしての新しい取り組み

メモリ製品だけでなく、お客様のニーズにお応えする新しい周辺機器の製品開発を積極的に行っており、幅広いラインナップの展開、販売を行い、お客様のお役に立てる企業として、成長してまいります。

#### ■ IoTシステム、端末 設計開発

- ▶ IoTシステムの構想、端末開発など、お手伝いします。
- ▶ LTEモデムからLoRaなどのLPWAモデムなど、多くの通信機器の実績があります。
- ▶ ハード/ソフト双方で相談ください。

#### ■ OEM機器 受託開発/販売

- ▶ 民生/医用/車載等、様々な分野の受託開発に対応します。
- ▶ OEM機器の開発、量産、販売及び、サポートを行います。
- ▶ 構想検討から販売まで、実績のある協力会社と共に取組めます。

#### ■ ARM系CPUモジュール販売

- ▶ NVIDIA、NXP製(ARM系)CPUモジュールToradex®の代理店販売
- ▶ Toradex®モジュールを拡張するキャリアボードのカスタム開発
- ▶ Toradex®モジュール及びキャリアボードの技術サポート

## 通建テック™で建設業務を圧倒的に低コスト化。 IoT/5G時代に通信建設を変革していきます。

代表取締役社長 堀 礼一郎

IoTの時代は、エアコンや冷蔵庫、椅子や電球など、目に見える全てのモノが通信に繋がる世界。それは、革新的な世界であるからこそ旧態依然のままでは対応できず、新しい考え方や手法が求められています。我々は、これまでビジネス・インテグレーターとして培ったノウハウと技術力にAKIBAホールディングスグループが誇るITの総合力を掛け合わせ、この課題を解決します。そして、より一層便利な社会を創り守っていくために、益々の企業規模拡大を目指していきます。

### 事業内容

#### ■ エンジニアリング事業

高度化する企業のネットワーク・インフラ構築を確かな技術力でサポートします。

##### Mobile Engineering

モバイルエンジニアリング

移動体通信局構築工事  
 屋内電波対策工事

##### Network Engineering

ネットワークエンジニアリング

WAN・LAN設計/工事  
 公衆無線LAN構築工事  
 電気・電話設備  
 防犯カメラ設置工事

##### Field Support

フィールドサポート

全国保守サポート  
 IT機器の設置・交換

#### ■ コンタクトセンター事業

##### Contact Center Service

コンタクトセンターサービス

高品質、スピードをキーワードに掲げ、お客様のご要望に応じた最適なコンタクトセンターソリューションを提供します。

カスタマーサポート、テクニカルサポート、アウトバウンドコール、コンサルティング、CRMソリューション

#### ■ 通信コンサルティング事業

##### Mobile Consulting

モバイルコンサルティング

全国600名の経験豊富なセールスチームと実績のあるコールセンターが貴社の売り上げ拡大をサポートします。

新規訪問営業  
 ルート営業  
 インバウンドサービス  
 アウトバウンドサービス

契約・収納  
 カスタマーサポート

#### ■ BPO事業

##### BPO Service

BPOサービス

お客様の課題を業務設計から業務の効果分析、改善案実行による業務効率化まで一括して支援します。

スキーム構築  
 営業支援  
 施工・設置  
 保守・メンテナンス

マーケティング  
 サポートデスク  
 設計・開発支援  
 バックオフィス 等

#### ■ システム開発・受託事業

##### System Engineering

システムエンジニアリング

情報通信機器を中心にハード機器・ソフトウェアの設計開発をサポートします。

各種ソフトウェア開発（受託・SES）  
 ネットワーク構築  
 IoT研究開発  
 エンジニアリングサービス  
 コンサルティング

#### ■ 人材派遣・人材紹介事業

##### Buddy Staffing

バディスタッフィング

企業活動に必要な様々な分野の人材を紹介します。SE・NWエンジニア  
 オフィスワーク  
 セールス・プロモーション  
 コールセンター

### 拠点

#### ■ 営業所

【新宿営業所】新宿区新宿6-5-1 新宿アイランドタワー6F  
 【大阪営業所】大阪市浪速区日本橋4-16-1 ユニットコム本社ビル3F  
 【福岡営業所】福岡市博多区博多駅中央街5-11第13泰平ビル3F

#### ■ コンタクトセンター

【東京CS】中央区築地  
 【和歌山CS】和歌山市本町  
 【福岡CS】福岡市博多区博多駅中央街

### 取得認可

#### ▶ 労働者派遣事業

許可番号：派13-306504  
 許可年月日：2016年6月1日

#### ▶ 職業紹介事業

許可番号：13-コ-308341  
 許可年月日：2016年12月21日

#### ▶ 建設業許可

許可番号：東京都知事 14501  
 許可年月日：2013年8月30日

### 取り組み

#### 安全品質管理体制

当社は、作業所の安全確保と安全な職場環境を形成することで、労働災害発生を未然に防ぎ安全でかつ安心な品質を確保します。

- ▶ 安全パトロールの実施
- ▶ 安全衛生協議会の実施
- ▶ 施工安全計画書の策定
- ▶ 事故事例検討会の実施
- ▶ 情報セキュリティ事務局の設置

#### 個人情報保護

当社は、社会の通信インフラに関わる業務並びに人材サービス(労働者派遣等)に関わる業務に携わっております。これら業務を行うに当たり、個人情報保護という社会的責任を認識しプライバシーの保護、個人情報に関する法規制等を遵守し、事業活動を行うためにプライバシーマークを取得し、業務を実行しています。



## 国際的な競争力の強化と人々が自己実現できる 代表取締役 奥山 義弘 豊かな社会を目指し最善の努力をつくします。

21世紀に入り日本を取り巻く国際情勢は目まぐるしく、大きな変動の中で産業界や大学・研究機関の役割・今後の進むべき道も大きく変わろうとしています。企業間の国際競争もそして同じ業界内での連携や競争または異業種との交流もその激しさとスピードを一層増してきています。その中において新たな技術やサービスの開発の基となる科学技術コンピュータ（HPC）やIT技術は国家や企業のよりよい未来を創造する事でしょう。

我々はこの激動する社会・経済の変化の中で、世界的に繋がったインターネットのように人と人の繋がりを大事にして、新しい世代を担う大学・研究機関・企業の方々の発展と地球環境の保全に貢献したいと心から願う次第です。

### 事業内容

#### 科学技術コンピュータ製造・販売事業

高度な科学技術計算機を必要とする大学、研究機関、企業の研究開発部門向けに、科学技術計算分野向けコンピューターの製造、販売を行っております。天気予報、地震予測、自動運転、電子機器や新素材の開発などに用いられ、ビッグデータ解析やAI（人工知能）、ディープラーニング（深層学習）といった分野にも活用されています。

#### Hardware

##### ハードウェア

デスクトップ計算機	サーバメモリ
GPU計算機	インフィニバンド
Xeon Phi計算機	フラッシュストレージ
ラックマウント型計算機	無停電電源装置
ポータブル型計算機	サーバラック・静音ラック
大容量ストレージサーバ	

#### Software

##### ソフトウェア

クラスタ管理ツール	物理・電子
ジョブスケジューラ	電磁界
コンパイラ	可視化
構造・流体	数値解析
マルチフィジクス	クラウド支援ツール
化学・量子化学	

#### Set Up Service

##### セットアップサービス

OSセットアップ  
 GPUアクセラレータセットアップ  
 Deep Learningセットアップ  
 Singularityセットアップ  
 Deep Learning用サンプルプログラム  
 復旧用リカバリーUSB作成サービス  
 コンパイラセットアップ  
 各種アプリケーションのインストール代行作業

ネットワーク設定  
 MPI並列計算環境セットアップ  
 ジョブ管理ソフトセットアップ  
 クラスタ設定  
 RAID設定  
 設置サービス  
 訪問相談サービス

### 主要取引先

東京大学	東京工業大学	トヨタ自動車	凸版印刷	産業技術総合研究所
京都大学	広島大学	デンソー	ソニー	理化学研究所
東北大学	横浜国立大学	日本製鉄	オリンパス	海洋開発研究機構
大阪大学	早稲田大学	鹿島建設	住友電工	宇宙航空研究開発機構
九州大学	慶應義塾大学	東芝	NTT	遺伝研
北海道大学	明治薬科大学	三菱電機	楽天	等
名古屋大学	慈恵医科大学			
筑波大学				

※敬称略、順不同

### 取り組み

#### 品質環境方針

ISO認証を受けた国内の自社オフィスに製造専用ラインを持ち日々、熟練されたエンジニアが品質向上に取り組み、全ての計算機を一つ一つ手作業で生産しております。部品選定、検品、製造、エージングテスト、全ての項目を厳しくチェックし、高品質の製品をお届けします。



#### 環境への取り組み

企業活動と地球環境との調和・安全の推進を行い、環境負荷の低減及び環境マネジメント継続的改善に取り組み、環境に優しい事業活動の継続的な推進を行います。開発、購入、製造、販売プロセスなど事業のあらゆる面で効率化を推進し、環境に優しい活動を推進します。製品やサービスの品質向上を図り、省資源化や廃棄物対策の推進に努めます。環境に配慮した製品やサービスの開発に努め、お客様へご提供します。グリーン購入の推進及び、製品のコストダウンをはかり、より一層の社会貢献を目指します。

- ▶ 環境関連法規制等の順守
- ▶ 環境保全活動の継続的な推進

### 取得認証

#### ▶ ISO9001 : 2015 (品質の保証)

登録証番号：GIJP-0193-QC

初回認証登録日：2018年10月1日

認証範囲：HPC 製品（科学技術計算器）の組立・販売・サポート

#### ▶ ISO14001 : 2015 (環境にやさしく)

登録証番号：GIJP-0193-EC

初回認証登録日：2018年10月1日

## 次世代のサービス産業の在り方をIT技術で 創造する企業を目指します。

代表取締役社長 下津 弘亨

当社は過去の事業再生ノウハウと新たに旅館事業におけるノウハウを持つことで、更なるサービス事業領域の強化を図って参ります。また当社グループの株式会社アドテック、株式会社パディネットの事業であるIoT 分野及び通信分野（5G やIoT 通信）において、この鬼怒川絆を様々な研究場所として、館内のお客様への利便性・快適性の追求やそこに働く従業員のための業務効率化や労働環境改善に向けた技術開発の追求を行って参ります。また地元密着で、IT 関連の実証実験や製品販売の推進、IT 技術を活用したイベント等の催し物等へのサポートなど多角的視点で、事業展開を図って参ります。

### 事業内容

#### 旅館事業

栃木県の鬼怒川温泉において、ペットと泊まれる温泉旅館、「鬼怒川 絆」の運営事業をスタートさせました。鬼怒川の自然に包まれながらペットと過ごす最高のひと時を私達絆スタッフが最大限にサポートいたします。鬼怒川絆は、自慢の庭園を始め、会席料理、天然温泉、大切なペットと快適に過ごすことの出来る館内施設を運営し、また周辺の様々な施設との連携も進めております。

#### ペット商品事業

ペットとの暮らしにおけるニーズが複雑化、多様化している中、飼い主様とペットの利便性、快適さ、健康の向上をテーマに、ペットフードや飼育用品から保険まで、あらゆる種類のペット商品に関して、市場ニーズの把握から商品の企画、製造、輸入、販売までを行なう総合ペット商品事業の構築を目指して参ります。

#### IT事業

当社グループのノウハウを活かし、人口が減少する中で競争が激化する旅館、飲食店、小売店等BtoC ビジネスのIT 化、IoT化を推進する機器及びソリューション開発を行い、ビジネスの効率化、差別化推進に貢献して参ります。又、ペットとの暮らしのQOL 向上に貢献するものとして、昨今海外を中心に開発の進む、ペットの福祉、健康等に関するIoT機器の開発、製造、輸入、販売事業も推進して参ります。

### 取得認証

#### ▶温泉利用（浴用）許可

許可番号：栃木県指令西保第3621-7号/8号/ 9号/ 10号/11号/12号/13号/14号 /  
15号/ 16号/17号/18号  
許可年月日：2020年8月27日

#### ▶飲食業許可

許可番号：栃木県指令西保第10006242号  
許可年月日：2020年8月25日

#### ▶旅館業許可

許可番号：栃木県指令西保第010500015号  
許可年月日：2020年8月28日

#### イベント事業

栃木県の鬼怒川温泉において、ペットと泊まれる温泉旅館、「鬼怒川 絆」の運営事業をスタートさせました。ここから地元の更なる発展に貢献することで、地元の活性化を行い、当旅館にお越しのお客様がさらに様々な過ごし方を演出できるようにしてまいります。その為に館内における催し物だけに留まらず地域との連携による様々な催し物の開催に向けた企画等を積極的に推進し、イベントの企画・運営を事業の一つとしております。

#### 不動産事業

当社の行なう旅館業は、サービス産業であると同時に、装置産業であり、立地、不動産の性質が非常に重要な要素となることから不動産事業の性質を有しております。そのため、当社は、開業にあたり、将来の事業拡大を支えるため、不動産事業を重要な事業領域として行うことといたしました。不動産事業においては、デューデリジェンス、投資、再生、プロパティマネジメント、アセットマネジメント等総合不動産事業の構築をして参ります。

### 施設概要

名称：鬼怒川 絆  
住所：栃木県日光市鬼怒川温泉大原1422-4  
電話：0288-25-7733（鬼怒川絆予約係）  
メール：info@diamondpets.co.jp  
ホームページ：<https://kizuna-kinugawa.com/>  
仲居ブログ：<https://ameblo.jp/kizuna-kinugawa/>





<https://www.akiba-holdings.co.jp/>